



全国共同利用研究所
九州大学応用力学研究所

RIAMフォーラム2011

新たな船出

高温プラズマ力学研究センター

東アジア海洋大気環境研究センター

核融合力学部門

地球環境力学部門

新エネルギー力学部門

2011年6月9日(木)～6月10日(金)

6月9日(木)

応用力学研究所の概要

14:00-14:30 応用力学研究所の現状と将来構想

柳 哲雄(応用力学研究所)

応用力学研究所の部門とセンターの成果と将来構想について

14:30-14:55 地球環境力学部門の研究成果と将来構想

和方吉信(応用力学研究所・地球環境力学部門)

14:55-15:20 核融合力学部門の研究成果と将来構想

中村一男(応用力学研究所・核融合力学部門)

15:20-15:45 新エネルギー部門の研究成果と将来構想

柿本浩一(応用力学研究所・新エネルギー力学部門)

15:45-16:10 東アジア海洋大気環境研究センターの研究成果と将来構想

尹 宗煥(応用力学研究所・東アジア海洋大気環境研究センター)

16:10-16:35 QUEST非誘導電流駆動実験の現状と将来計画

関子秀樹(応用力学研究所・高温プラズマ力学研究センター)

16:35-17:00 総合討論

6月10日(金)

特別講演

9:30-10:30 Relating carbon and nutrients to water masses in the East China Sea

C.-T. Arthur Chen (Sun Yat-Sen University)

特別セッション「東アジア域の大気海洋環境変動の解明」

10:30-10:50 日本海深層海水の長期変動と気候変動・地球温暖化
千手智晴(九州大学・応力研)

10:50-11:00 休憩

11:00-11:20 東アジア縁辺海における海峡通過流の特性 長期モニタリングからわかること

福留研一(九州大学・応力研)

11:20-11:40 アジアスケールの越境大気汚染とその年々変動に関する最近の展開

鶴野伊津志(九州大学・応力研)

11:40-12:00 雲物理特性の全球分布:アクティブセンサーがもたらす新しい知見

岡本 創(九州大学・応力研)

13:20-13:40 東アジア縁辺海が北西太平洋域の気象に与える影響

山本 勝(九州大学・応力研)

13:40-14:00 ヤマセに起因する日本海の強風

島田照久(東北大学・大気海洋セ)

14:00-14:20 Influence of Langmuir Circulation on the Deepening of the Wind-Mixed Layer

Yign Noh (Yonsei University)

14:20-14:40 海底乱流エクマン境界層の観測

吉川 裕(九州大学・応力研)

日 時／2011年6月9日(木)14:00～6月10日(金)14:40

会 場／九州大学筑紫地区総合研究棟(C-CUBE) 1F 筑紫ホール

問合せ先／九州大学応用力学研究所事務局 福岡県春日市春日公園6丁目1番地 ☎(092)583-7702 <http://www.riam.kyushu-u.ac.jp/>